



# 株式会社ノリタケカンパニーリミテド 平成29年3月期 決算説明会

## 説明者

代表取締役社長 小倉 忠  
取締役常務執行役員 経営管理本部長 加藤 博

\*本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

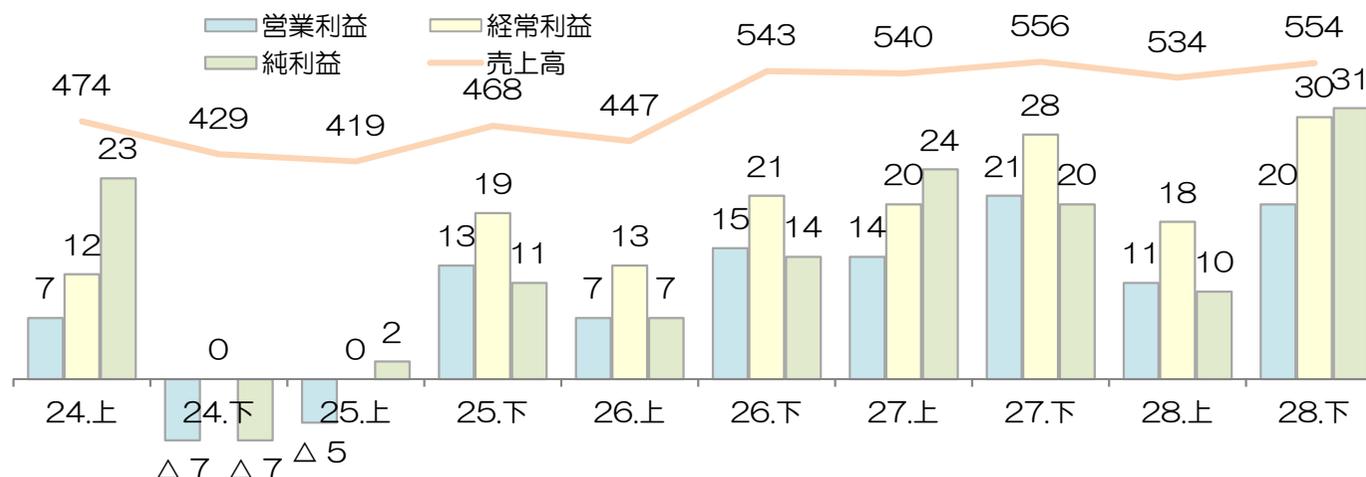
1. 平成29年3月期 連結決算の概要
2. 平成30年3月期 業績予想及び重点施策

# 平成29年3月期の連結業績



(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
売上高	1,096	1,088	△0.8%
営業利益	34	31	△9.5%
経常利益	48	49	1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	44	41	△6.9%

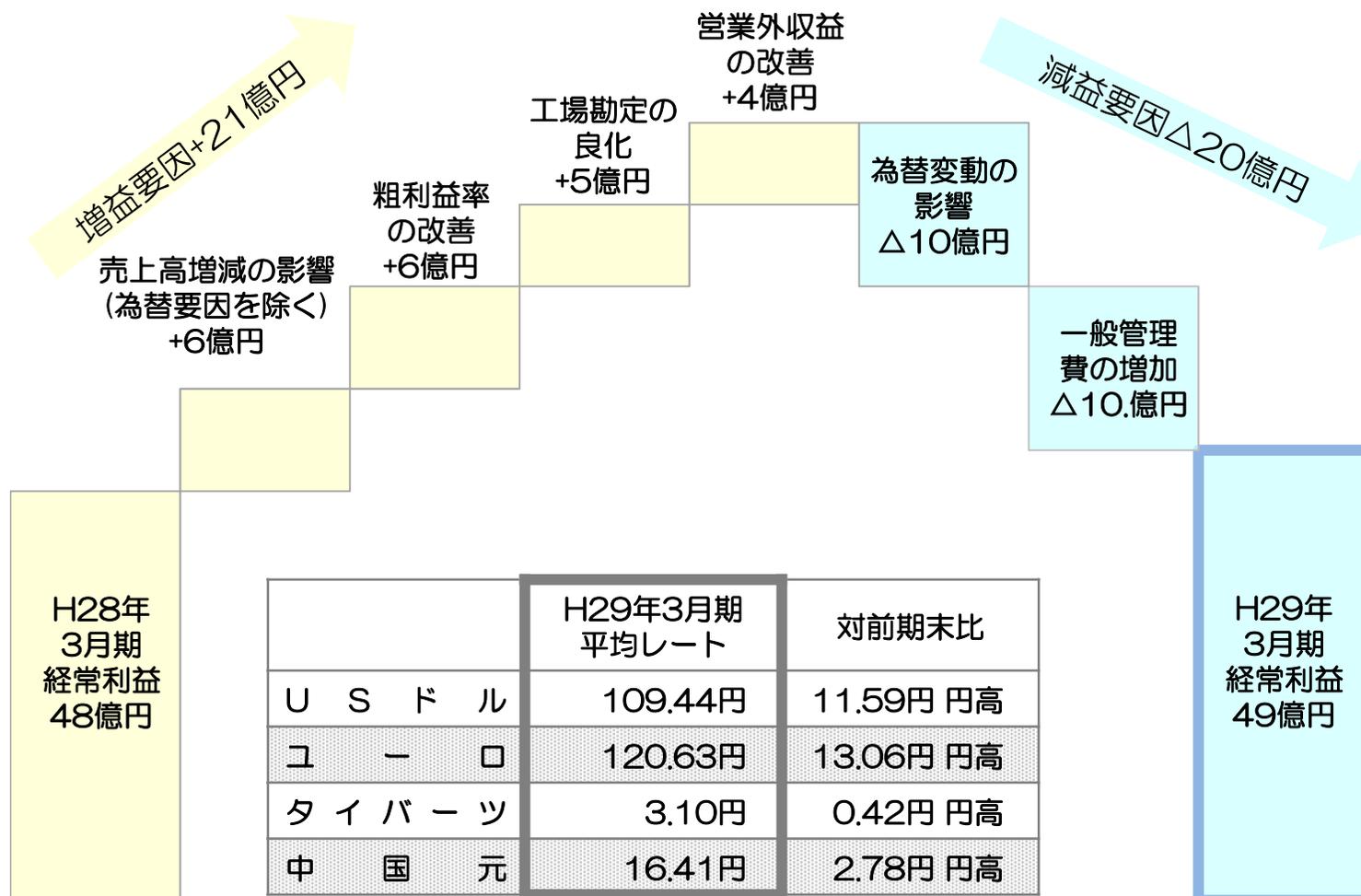
- 売上高に係る為替影響額 △30億円
- 連結の範囲及び連結子会社の異動なし (連結子会社数23社 持分法適用4社)
- 期末配当金 30円/株 (年間60円/株) (前期年間60円/株)



# 経常利益の変動要因



前期末比 1億円の増益



## 特別損益

Noritake

特別利益（単位：億円）	H28年3月期	H29年3月期
固定資産売却益	14.7	0.2
投資有価証券売却益	0.2	7.7
合計	14.9	7.8

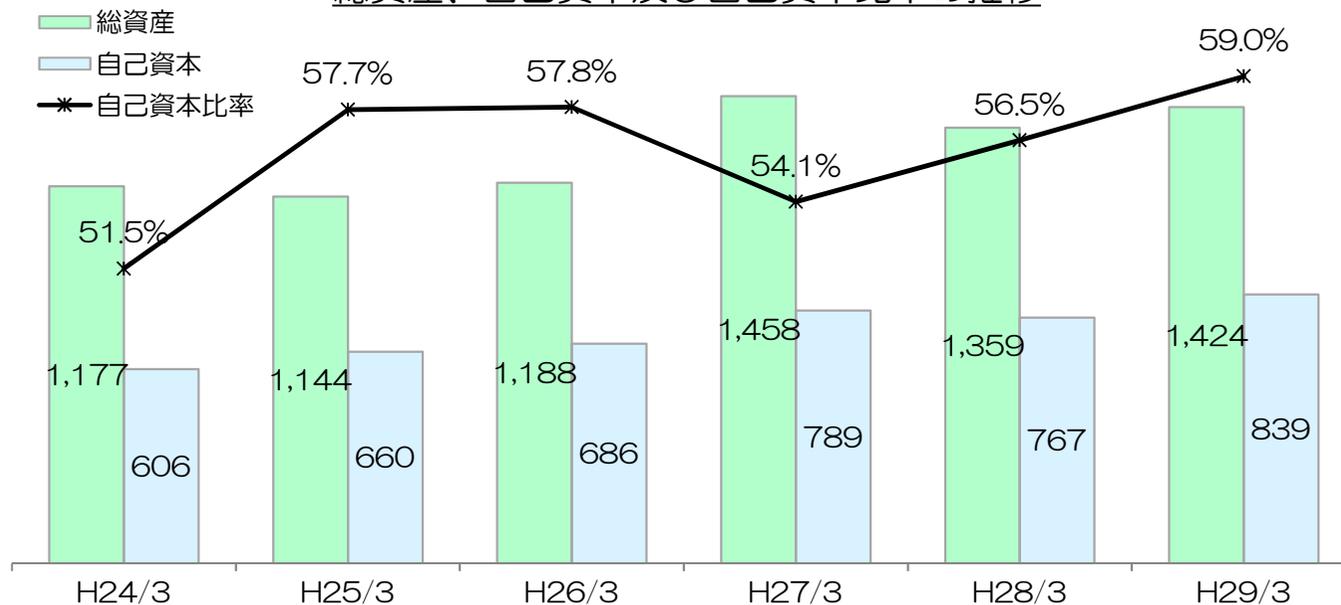
特別損失（単位：億円）	H28年3月期	H29年3月期
固定資産処分損	2.3	3.0
減損損失	3.6	-
関係会社整理損	-	0.7
その他	0	0.1
合計	5.9	3.8

# 連結貸借対照表

(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
総資産	1,359	1,424	+64
自己資本	767	839	+72
1株当り純資産	5,345円	5,847円	+502円
自己資本比率	56.5%	59.0%	+2.5%

単位：億円

総資産、自己資本及び自己資本比率の推移



## 連結貸借対照表

Noritake

(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
流動資産	604	612	+8
固定資産	755	812	+56
負債	562	552	△9
株主資本	697	729	+32
包括利益累計額	70	110	+39
非支配株主持分	30	32	+2

# キャッシュ・フロー

Noritake

(単位:億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
営業活動によるCF	61	91	+30
投資活動によるCF	△40	△25	+15
フリーキャッシュフロー	21	66	+45
財務活動によるCF	△39	△60	△21
現金及び同等物残高	86	89	+3

## 有利子負債、設備投資及び従業員数

Noritake

(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
有利子負債	282	231	△51
現金預金	107	113	6
ネット有利子負債	175	119	△56

(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
設備投資	37	45	+8
減価償却費	41	40	△1

(単位：人)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
正規国内従業員計	2,980	2,977	△3
正規海外従業員計	2,074	2,120	46
正規従業員合計	5,054	5,097	43
平均臨時雇用者数	826	815	△11

## 事業セグメント別の概況

Noritake

### 事業セグメントの構成

セグメント	製品カテゴリー		
工業機材	研削砥石	日本レチボン製品	ダイヤ・CBN工具
	研磨布紙	関連商品	
セラミック・マテリアル	電子ペースト	厚膜回路基板	触媒担体
	セラミックコア	石膏	蛍光表示管
	セラミック原料	電子部材	
エンジニアリング	乾燥炉・焼成炉	混合攪拌装置	
	濾過装置	超硬丸鋸切断機	
食器	陶磁器食器	食器関連商品	装飾・美術品

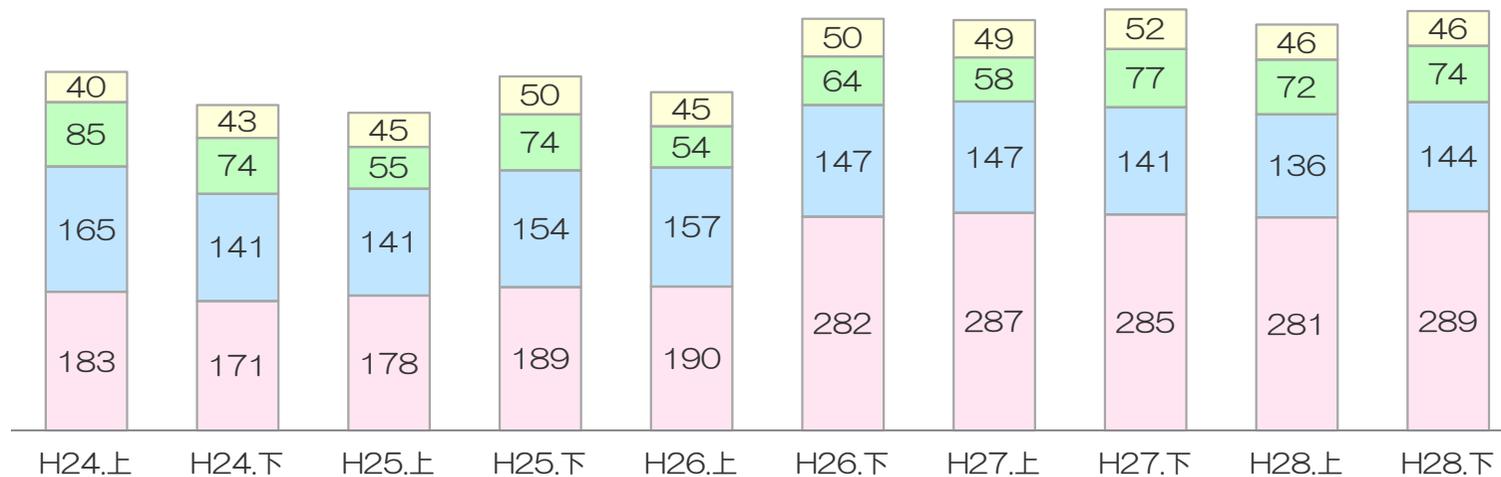
# 事業セグメント別の概況



## セグメント別売上高

(単位：億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
工業機材	572	570	△0.3%
セラミック・マテリアル	288	280	△3.0%
エンジニアリング	135	146	+8.3%
食器	101	92	△8.8%
合計	1,096	1,088	△0.8%

単位：億円    □食器   □エンジニアリング   □セラミック・マテリアル   □工業機材



## 工業機材事業

研削砥石



ダイヤ・CBN工具



日本レヂボン製品



研磨布紙



関連商品



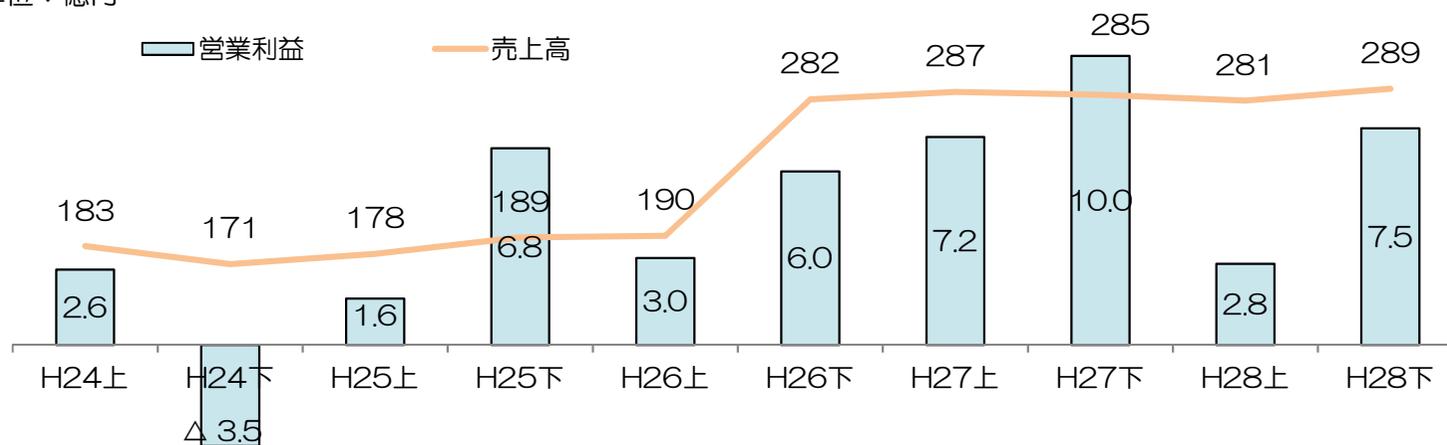
# 事業セグメント別の概況

## 工業機材事業

(単位:億円)	H28年 3月期	H29年 3月期	対前期 末比
売上高	572	570	Δ2
営業利益	17.2	10.3	Δ6.9



単位：億円



## 工業機材事業

### 製品別売上高の推移

(単位:億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
研削砥石	157	153	△3
日本レチボン製品	181	184	3
ダイヤ・CBN工具	131	125	△5
研磨布紙	69	72	3
関連商品	35	35	0
合計	572	570	△2

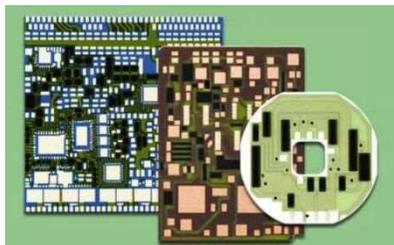
# 事業セグメント別の概況

## セラミック・マテリアル事業

電子ペースト



厚膜回路基板



触媒担体



セラミックコア



石膏



蛍光表示管



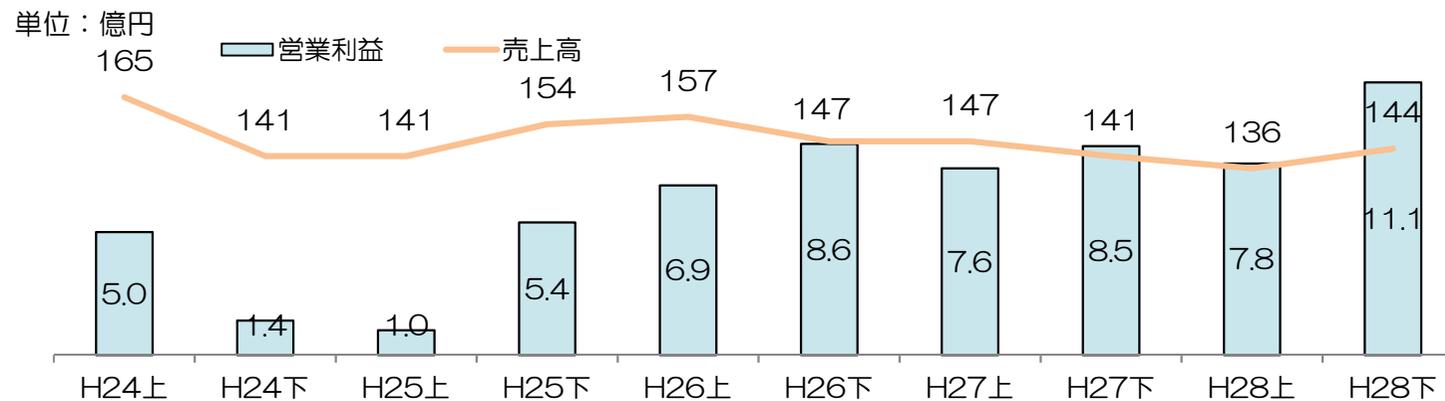
セラミック原料・電子部材



# 事業セグメント別の概況

## セラミック・マテリアル事業

(単位:億円)	H28年 3月期	H29年 3月期	対前期 末比
売上高	288	280	△9
営業利益	16.1	18.8	2.7



## セラミック・マテリアル事業

### 製品別売上高の推移

(単位:億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
電子ペー ス ト	55	50	△5
厚 膜 回 路 基 板	24	24	0
触媒担体・セラミックコア	14	19	5
石 膏	28	27	△1
蛍 光 表 示 管	46	37	△9
共立セラミック原料	68	63	△5
共立電子部材	55	60	6
合 計	288	280	△9

## エンジニアリング事業

焼成炉



混合攪拌装置



濾過装置



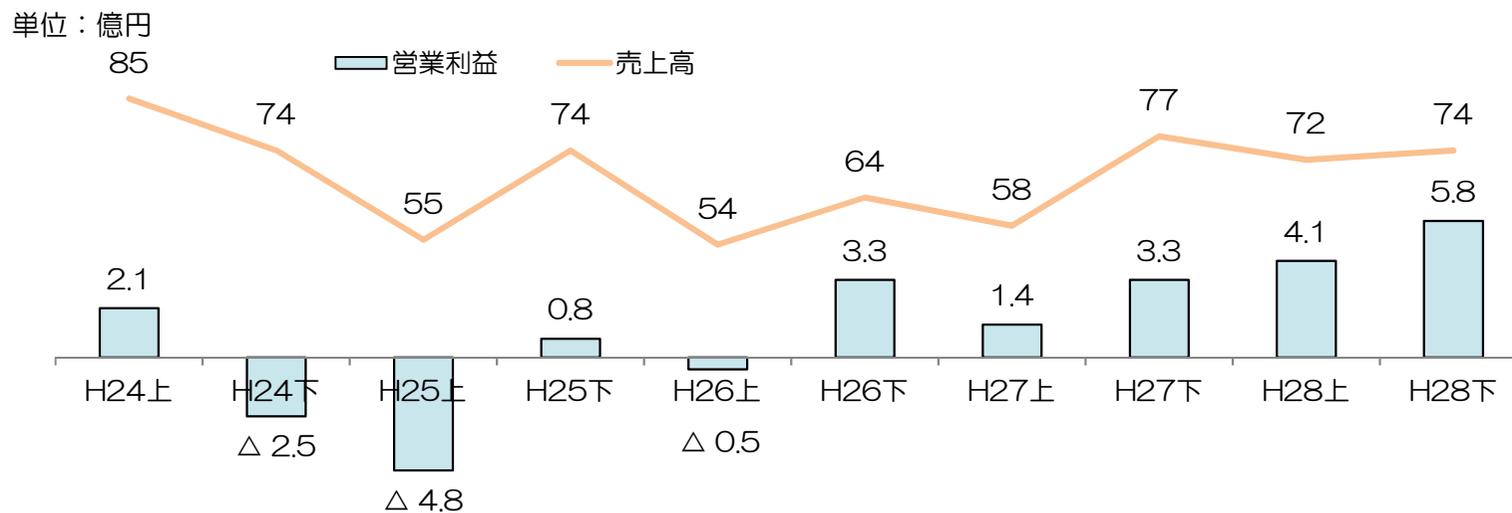
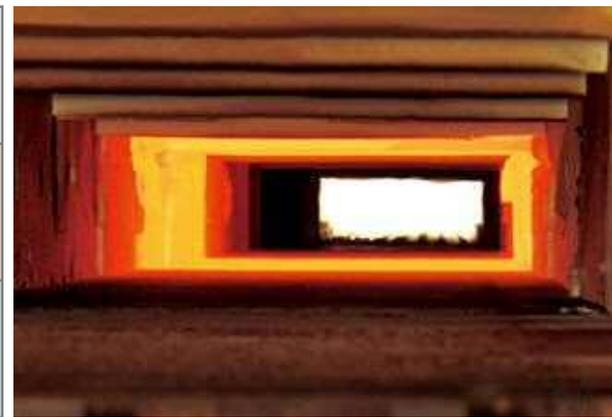
超硬丸鋸切断機



# 事業セグメント別の概況

## エンジニアリング事業

(単位:億円)	H28年 3月期	H29年 3月期	対前期 末比
売上高	135	146	+11
営業利益	4.7	9.9	+5.2



## エンジニアリング事業

### 製品別売上高の推移

(単位:億円)	H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
乾燥炉・焼成炉	97	112	15
混合攪拌装置	12	12	0
濾過装置	14	12	△2
超硬丸鋸切断機	11	9	△2
合計	135	146	11

食 器 事 業

花銀彩 百合



シェールブラン



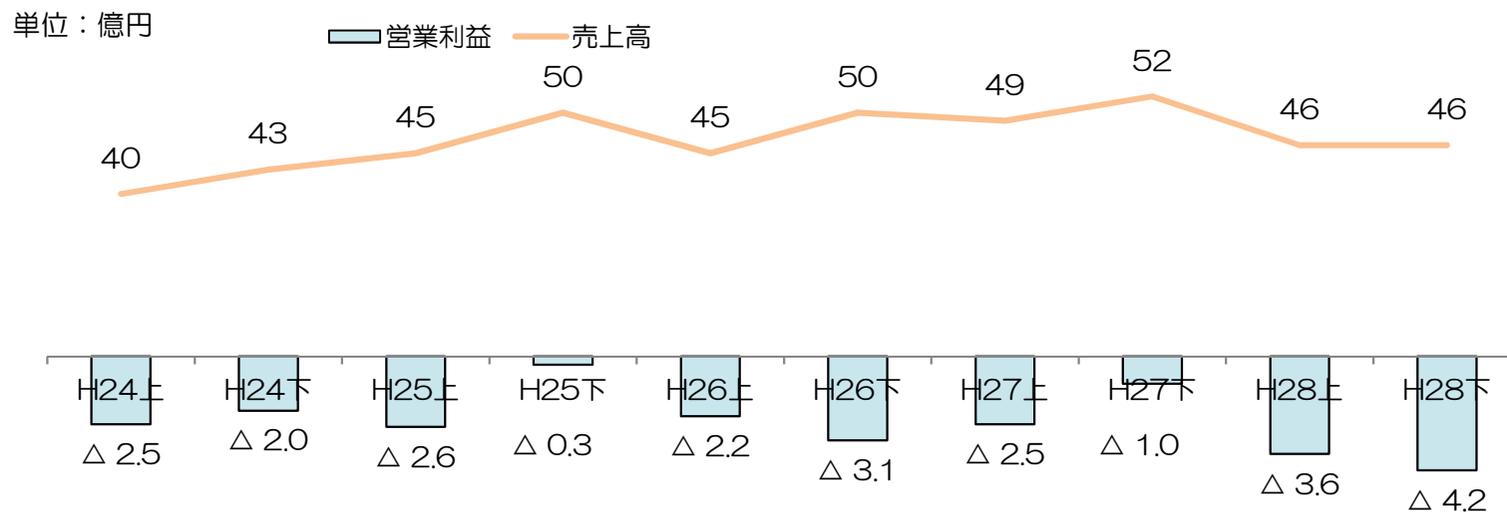
アルタコレクション



# 事業セグメント別の概況

## 食器事業

(単位:億円)	H28年 3月期	H29年 3月期	対前期 末比
売上高	101	92	△9
営業利益	△3.5	△7.8	△4.3



## 食 器 事 業

### 製品別売上高の推移

(単位:億円)		H28年3月期	H29年3月期	対前期末比
国	内	46	45	△1
米	州	28	23	△5
欧	亜	28	24	△3
合	計	101	92	△9

## 2. 平成30年3月期 業績予想及び重点施策

# 平成30年3月期 業績予想

Noritake

(単位:億円)	H29年3月期			H30年3月期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売上高	534	553	1,088	550	560	1,110	+22
営業利益	11	20	31	14	18	32	+1
経常利益	18	30	49	22	26	48	△1
特別損益	△3	7	4	2	122	124	+120
税前利益	16	37	53	24	148	172	+119
純利益	10	31	41	18	122	140	+99
US\$為替	109.44円			110円			

## 平成30年3月期 業績予想

Noritake

売上高 (億円)	H29年3月期	H30年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	570	290	585	+15
セラミック・マテリアル	280	140	280	0
エンジニアリング	146	72	145	△1
食器	92	48	100	+8
売上高計	1,088	550	1,110	+22

営業利益 (億円)	H29年3月期	H30年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	10.3	5	13	3
セラミック・マテリアル	18.8	8	16	△3
エンジニアリング	9.9	4	7	△3
食器	△7.8	△3	△4	4
営業利益計	31.2	14	32	1

## 第10次中期経営計画の課題及び目標

Noritake

第10次中期経営計画の対象期間：平成28年4月-平成31年3月

### 経営課題

急速に変化し、益々競争が激化するグローバル市場において、安定した収益と成長が期待できる事業体制、経営体制の構築を目指します。

### 経営目標（長期目標）

- |          |         |
|----------|---------|
| ① 売上伸長率  | 年率5%    |
| ② 営業利益率  | 5%      |
| ③ 海外販売比率 | 50%     |
| ④ ROE    | 5%以上    |
| ⑤ 自己資本比率 | 50%以上維持 |

## 第10次中期経営計画の基本戦略

### 基本戦略

- ①製造・販売・技術が一体となって営業活動を推進することで、シェアを拡大するとともに、新しい市場の開拓を進めます。
- ②新商品・新技術の開発によって市場競争力を高め、売上の拡大を図ります。
- ③海外生産拠点の整備と海外市場の開拓を進め、事業の拡大を図ります。
- ④経営インフラを整備し、経営体制の強化を図ります。

### 第10次中期経営計画の連結業績目標

単位：億円

	H28年3月期 実績	H31年3月期 目標	増減率
売上高	1,096	1,200	+9.5%
営業利益	34	45	+30.5%
経常利益	48	60	+25.5%

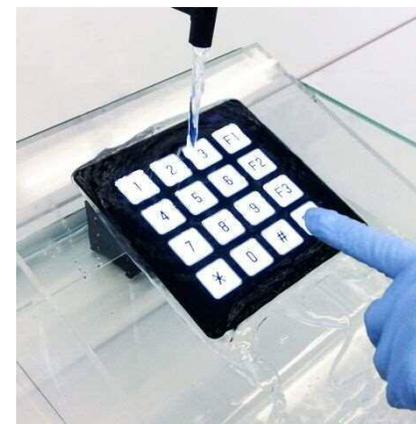
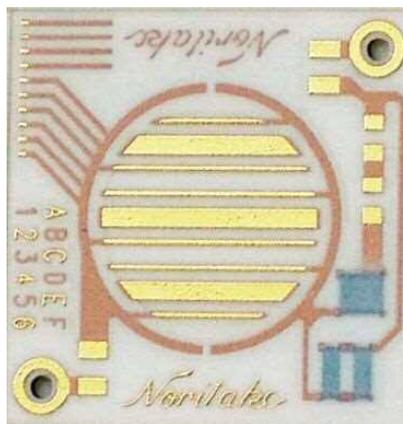
## 工業機材事業

- 自動車、エネルギー、医療など先進・成長分野向けの新商品開発や、国内・海外のサービス体制強化を推進する。
- 需要地域ごとの生産・販売拠点整備を進め、グローバルな事業推進体制を構築する。



## セラミック・マテリアル事業

- 電子ペーストは、車載用MLCC、インダクタ等、電子部品分野での新製品開発と新規需要開拓を推進する。
- セラミック原料・電子部材は、MLCC用材料のシェア拡大と電子関連分野の新商品開発を推進する。



## エンジニアリング事業

- 自動車関連分野や電子部品材料分野での新商品開発と新用途開拓によって拡販を図るとともに、海外販売体制の構築を推進する。



## 食器事業

- 国内、米州では、新商品の開発を含め、食空間を演出する商品ラインナップを充実させ、拡販を図る。
- アジア、中近東地域では、営業体制を整備、強化して、市場開拓を推進する。

